

重点的に取り組んだ活動・内容

項 目	実 践 状 況
1 実践1 【人権問題啓発映画「ホーム」や性的マイノリティへの理解促進に関する動画視聴の実施】	・人権動画「ホーム」の視聴を教員、生徒ともに行った。 ・性的マイノリティへの理解促進に関する動画の視聴を行った。 成果 ・教員及び生徒の部落差別や性的マイノリティへの理解が深まった。 ・教員や生徒の様子から、自らの発言に気を付けようとする意識の高まりが見られた。 課題 ・来年度以降も引き続き、「ホーム」の視聴を通して、人権問題への理解を深められる教員研修及び授業を行い、人権意識の向上に努めていく。 ・生徒同士の心無い発言により、トラブルへと発展してしまうことがあったので、相手を思いやった言葉かけができる雰囲気づくりを心がける。
2 実践2 【あいさつ運動】	・生徒同士、教師と生徒、保護者と生徒が心を通わせ、好ましい人間関係を作ることができるようにするため、毎週木曜日の朝に生活委員、PTA、生徒会役員、部活動有志が中心となり、あいさつ運動を行った。あいさつ運動はあいさつの大切さを知り、心のこもったよいあいさつができるようにするとともに、ことをねらいとして行っている。 成果 ・自分からあいさつができる生徒が増えてきた。 ・地域の方にも積極的にあいさつをする姿勢が見られた。 課題 ・あいさつ運動を十王中学校内だけではなく、近隣の小学校等と連携して行い、地域を巻き込んだ活動にしていきたい。
3 実践3 【人権意識を高めるための研修の実施】	・人権意識を高めるための研修をコンプライアンス研修の中で実施した。生徒への言葉遣いの確認や体罰撲滅に向けた取組について、教員間で意見交換を行った。 ・生徒に対する人権意識の向上だけでなく、教員間の人権についても考える時間を設けた。具体的には、パワーハラスメントやセクシャルハラスメントに関して意見交換を行い、意識の向上に努めた。 成果 ・生徒との関わりの中で人権については意識をしているが、研修を通してが生徒に大きな影響与えることを実感した。教員の人権意識を高めることが生徒の人権意識を高めることにもつながると気付くことができた。 ・各教員の人権意識の向上ができた。 ・事例を他人事ではなく、自分事として捉えられるようになった。 課題 ・教員の言動について、引き続き互いに注意していく必要がある。 ・来年度以降も継続して研修時間を確保し、教員の人権意識の向上、維持に努めていく。